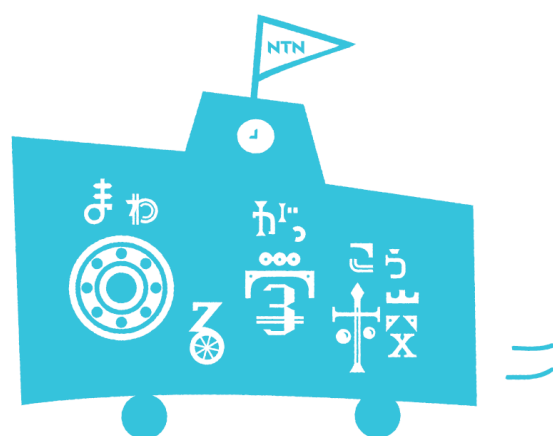


NTN回る学校 回るシンフォニー 実践ガイド



NTN株式会社

<目次>

「回るシンフォニー」とは … P.1

「回るシンフォニー」の楽譜 … P.3

使用する楽器について … P.5

実施の段取り … P.6

「回るシンフォニー」は音楽教育学者の近藤真子さん（文教大学/Oakland University）が創案した「クロック・オーケストラ」音楽づくりをもとに、「NTN回る学校」のために新たに開発した音楽体験のプログラムです。

この実践ガイドは、2019年5月にツアー・オブ・ジャパンの各会場で開催した「NTN回る学校」に参加いただいた各地域の子どもたち、来場者の方々、NTN社員、そして協力いただいた奈良教育大学の劉麟玉先生、北條美香代先生、作曲家の田口雅英さん、近藤浩平さん、奈良教育大学大学院生の皆さんと実施した「回るシンフォニー」の実践を踏まえてまとめたものです。

「回るシンフォニー」とは

「回るシンフォニー」は、「NTN回る学校」のために開発した音楽体験のプログラムです。専用の楽譜に従って、それぞれが担当する楽器を鳴らして演奏を行います。

音楽の知識や楽器の経験がなくても、お互いにイメージを共有することで、音を組み立ててひとつの音楽をつくることができます。

<「回るシンフォニー」の流れ>

①いろいろな楽器を触って、好きな楽器を選びます。



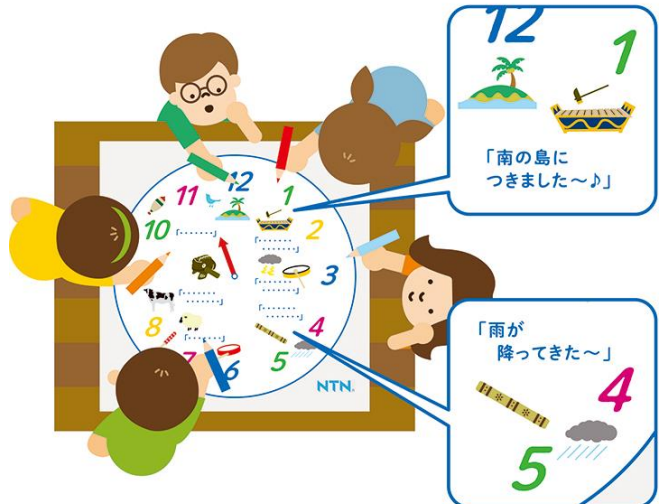
②楽器の音からイメージを膨らませます。さまざまな楽器の音をつないで物語をつくります。



④みんなで演奏してみましょう。時計の針が自分の楽器をさしたら、音を鳴らします。



③つくった物語を時計の形をした楽譜に書きこみます。



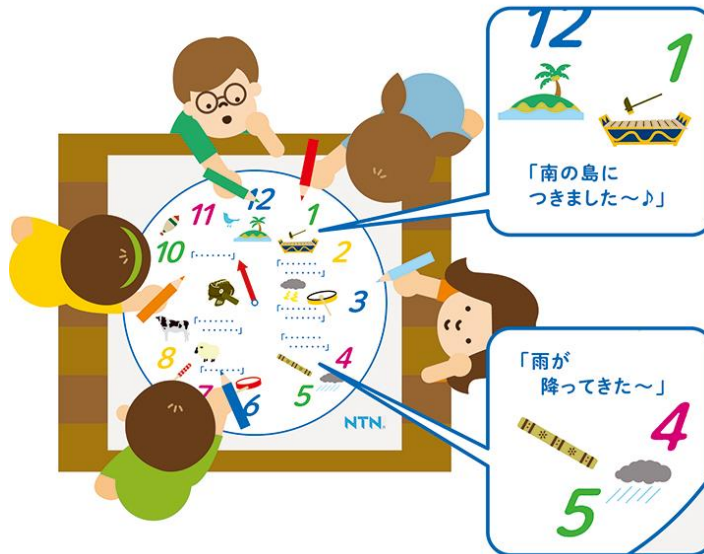
「回るシンフォニー」の特長

- ①1分間の時計になった楽譜は、楽譜の知識がなくても、子どもから大人まで誰でも簡単に理解できるものです。
- ②言葉も加えて具体的な音のイメージやストーリーが共有できるようにしました。
- ③楽しい物語をイメージしたNTNオリジナルの楽譜を用意しました。自分たちで曲をつくる際のヒントになればと思います。

「回るシンフォニー」が生み出すもの

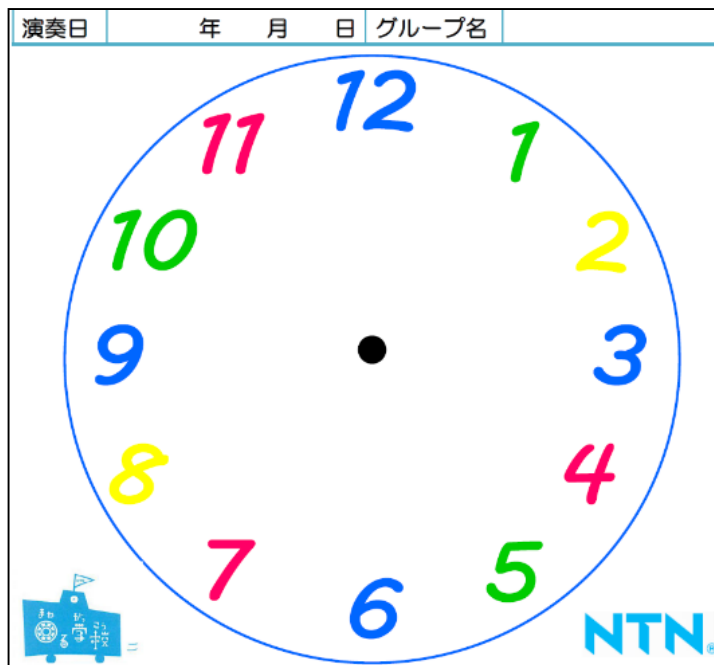
- ①一緒に音楽をつくることで、なめらかな人間関係が生まれます。
- ②音を組み立てたり、物語を考えたりすることで、創造的な設計思考が育まれます。
- ③自由な発想、共感力、新しい音や仕組みへの好奇心を育みます。

自分たちの曲をつくってみよう



白紙の楽譜用紙を使って、自分たちオリジナルの曲をつくることもできます。

こんなストーリーにしよう、こんな楽器を使ってみよう、など自分たちで考えて1分間の音楽をつくりましょう。



白紙の楽譜は「NTN回る学校」特設サイトからダウンロードできます

「NTN回る学校」特設サイトURL：
<https://www.ntn.co.jp/japan/rotatingschool/>

身近にあるものを使って楽器をつくったり、いろいろな楽器を集めてみよう

家の中で、楽器にできそうなものを探してみましょう。

ペットボトルに好きなものを詰めて振ってみたり、空き缶をたたいてみたり、身近にある廃材を使って、自由に楽器をつくりましょう。びっくりするような新しい音を鳴らすことができるかもしれません。

馴染みのない楽器、雨や動物などをイメージさせるような音が出る楽器があるとさらに楽しくなります。

どうやって鳴らすのだろう、どんな音がするのだろうと、好奇心や想像力がかき立てられます。



※「NTN回る学校」で実際に使用している楽器も特設サイトで公開しています。

「NTN回る学校」特設サイトURL : <https://www.ntn.co.jp/japan/rotatingschool/>



自分たちの音と響きの世界を自由に開拓しよう

「回るシンフォニー」はリズムをみんなで揃えて演奏する必要はありません。一人ひとりが違ったテンポで演奏したり、それぞれが全く異なったリズムで演奏して不規則で不思議な音楽をつくったりするなど、いろいろ試してみましょう。

長調や短調や決まった和声などの規則に従う必要もありません。自分たちで自由に音と響きの世界を開拓しましょう。

実施の段取り レイアウト



みんなからよく見える位置に、「回るシンフォニー」の楽譜を置きます。

壁や椅子に掛けて、楽譜を設置します。

倒れないよう、しっかり固定しましょう。

1分間で1周する時計（秒針）をセットする

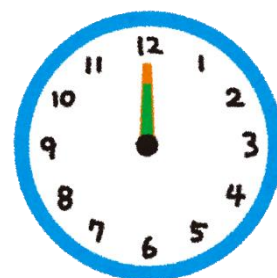
楽譜の真ん中や横に秒針がついた時計を置いて、楽器を鳴らしたり、台詞を言うタイミングがわかるようにしてください。

時計が用意できない場合は、手で持った棒で時間を指してあげましょう。必ずしも正確な1分である必要はありません。

※小さな子どもたちが演奏する場合は、時計よりも棒を使う方をおすすめします。子どもたちの演奏のスピードに合わせて、速度をゆるめてあげましょう。



「NTN 回る学校」では、ホームセンターなどで入手できる時計のモジュールと秒針を楽譜に取り付けています。



時計のモジュールがなくても、秒針がついている時計と楽譜を並べれば演奏が可能です。